レッスン：SPA 32M

テーマ：エレメントおよび現在のパーソナリティー

SPA/32M/KE7M/08

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。

私たちは常に絶対である主、主の聖性によって包まれています。

過去のレッスンで様々なレベルの意識について述べました。意識のレベルと言うとき、それは実存の諸世界、現在のパーソナリティーの世界における意識の現れに関して述べています。それら意識の現れの様々なレベルは生の現れです。なぜなら、意識と生は実際同義語だからです。

**それらの意識のレベルは生、意識が無知のなかに取り込まれた結果です。**

そして勿論それにはただ一つの目的があります。神の黙想によってイデアに与えられたものを、人間が素質的可能性のなかで表現するためです。

そこには聖なる神の目的があります。それは実際決して多くの人々が信じているような堕落ではありません。神の黙想のなかでは堕落するものは何一つありません。

ですから、実存の諸世界のなかでの現れとしての全てには一つの目的があります。人間が毎日の生活のなかで経験すること全てはレッスンです。それは素質的可能性のサイクルにあるものを達成する助けとなります。

前に説明したように、現在のパーソナリティーが自己（セルフ）を限界のなかで自らを表現している間、蓋然的可能性のサイクルの下にあり、素質的可能性のサイクルの特典を享受しません。それは現れの制限のゆえです。

もし現在のパーソナリティーが意識あるいは生としてインナーセルフの特質を完全に表現しているなら、その目的、仕事は達成されないでしょう。その仕事とはモナドであるスピリット・セルフ(Monad Spirit Self)がアウタルキーのなかでそのモナドセルフを認識することです。言い換えるなら、現在のパーソナリティーが個別の経験の結果として（なぜなら、私たちには各自、自分自身の個別の経験があります）個別性を表現する結果として、それが達成されるのです。

創造界において全く同じ経験をしている人間を二人見いだすことはないでしょう。現在のパーソナリティーとして私たちは特定のキャラクターを創造し、思考・行動の仕方としての特定のレベルを現わしています。

さて、現在のパーソナリティーについては、それは過去に述べたように、時間・空間の意味のなかにおける思考・行動の仕方以外の何ものでもありません。

**意味とは以前述べたように人間が無知に取り込まれた結果であり、**

**それはリアリティーではありません。**

**思考・行動の仕方としての人間がいて、**

**それが現在のパーソナリティーを構成しています**

**；私たちは現在のパーソナリティー以外の何ものでもありません。**

**肉体についてはどうでしょうか？**

**肉体は現れとしての現在パーソナリティーとは何の関係もありません。**

**それは神の黙想によって、言い換えれば神によって**

**現在のパーソナリティーに与えられたものです…**

**物質のバイブレーションのなかで現在のパーソナリティーが**

**自分自身を表現する手段として。**

Page2

ですから、肉体は思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーとは何の関係もありません。

私たちは肉体ではありません；この肉体は完全に聖霊的創造物です。

現れの制限は、創造のプロトタイプ（＊元型、基本型）と同一でない他の二つの体の結果です。プロトタイプという時、それは創造のセル（小部屋）、つまり生命の木を意味します。天上人(Heavenly Man)である人間のイデアのことです。

**まず人間が物質界に現れると、実存の世界におけるその現れの諸体は球体の形を取ります。そしてその瞬間から制限のなかに入り、そのようにして、もはや生はその真の質としての特質を表現しなくなります。**

意識あるいは生のスパークとしてそれは完全ですが、ただその現れに制限があるのです。それだけです。質的には違いはなく、前と同じです。一滴の水は依然としてピュアーであり、生の海、または意識の海、あるいはいわゆるエーテル・バイタリティーの海における他の全ての一滴と違いはありません。そしてエーテル・バイタリティーの海とは創造界における全てを活性化する海です。

そうです、マインドは活性化される必要があります。それ故に私たちの肉体ですら、様々なアークエンジェルのオーダーによって提供される特定の働きによって維持される必要があります。アークエンジェルのオーダーもまた生の海における一滴なのですが、そこには行うべき特定の働きがあります。

生の海、一滴の水について述べました；マインドについて述べ、全てはマインドであり、マインドを通じてあらゆる現れがあると述べました。現在のパーソナリティーの諸体はそれぞれ異なったバイブレーションのマインドによるものであり、それゆえにそれらの諸体が活性化されるために生の海が必要なのです。

完全に聖霊的なものである肉体について話しました；他の三つの体についてはどうでしょうか？なぜなら、肉体の他に私たちには三つの体があるからです。

しかし、二つの体だけが現在のパーソナリティーを構成しています；いわゆるノエティカル体とサイキカル体です。三番目の体は肉体の健康を示すもので、それはサイコノエティカル体の現れによって影響されます。

肉体が現在のパーソナリティーに与えられるのと同じように、それらの体は現在のパーソナリティーに与えられるのでしょうか？違います、同じようにではありません。それらの体は思考・行動の仕方です。それらの体は最初の時は生によって現れとしての生に与えられます…

1. **スピリットであるセルフが**（久保：神我・霊）
2. **人間のイデアを通じて、**（久保：聖霊・原型）
3. **それ自身**（久保：真の私）**の微細な部分**（霊魂）**を投射したときのことです。**

**そして、いわゆる**

**魂のセルフ・エピグノシス**（久保：観照者・永遠のパーソナリティー）

**の現れ**（久保：現在のパーソナリティー）**が**

**生じます。**

**その瞬間から、イデアとして、元型として、法則、原因としてのそれらの体が存在します。**

**それらの体は常に魂のセルフ・エピグノシスと共にあります。それは肉体のように聖霊的働きによるものではありません**

**。**

**④魂のセルフ・エピグノシス（久保：観照者・見守る者）がそれ自身の微細なスパークを実存の世界に投射した瞬間から、**

**ノエティカル体および**

**サイキカル体が存在するようになります。**

**（久保：ニサルガダッタ・マハラジなどの言う「見守る者の反映が「私」と言う感覚を創りだして個人は一見独立したようにみえる存在を獲得するのだ・・」という独立した存在に見えるサイコノエティック体のこと**

**だがアドバイタの系列の方々はこれを自我と呼称している）**

**これは創造というものではありません；魂のセルフ・エピグノシスに与えられた素質的可能性のサイクルの結果として存在するようになるのです。**

過去において、実存の世界には、特に物質界には四つのエレメントがあると述べました。物質を構成する四つのエレメントです。しかし、四つのエレメントは物質界だけのものでしょうか？あなた方はどう思いますか？

四つのエレメント全ては他の実存の世界にもあるのでしょうか？火のエレメント、水のエレメント、空気/エーテルのエレメント、そして土のエレメントがあります。これら四つのエレメントは他のバイブレーションにおいても存在するのでしょうか？存在します…土以外は。同じエレメントですがバイブレーションは異なります、より純粋なバイブレーションへと私たちが進むにつれて。

Page3

しかし、土のエレメントについてはどうでしょうか？ノーです。現在のパーソナリティーが他の世界、サイコノエティカル界に行くと、そのパーソナリティーは自分は引き続きまだ物質界にいるというイリュージョンを抱きます。土のエレメントについてはどうでしょうか？このエレメントはそこには実際に存在しませんが、現在のパーソナリティーのイリュージョンによってある程度までは作り上げられます。しかし、その創造、その特定のパーソナリティーのイリュージョンが土のエレメントであるとは言えません。

ですから、そこには他の三つのエレメントがあり、勿論、バイブレーションはより精妙になっています。サイキカル界およびノエティカル界ではそのバイブレーションはより精妙になっています。

三つエレメントがありますが、さらに三つのより高いエレメントについても述べました。電気・磁気・エーテルです。それらはエーテル・バイタリティーの傘の下にあります。これら三つの“エレメント”だけがあるのでしょうか？なぜなら、実際それらはエレメントではなく、それらは生の海における質だからです。それに注意を向けてください。それがこれらより高いエレメントに関するリアリティーです。それらは生の海、エーテル・バイタリティーのなかにおける質にすぎません。そして他の四つのエレメントが存在するところには、それらの質も存在します。それらの質なくしては、創造界において、神の黙想においていかなるバイブレーションのマインドも現れることができません。

**最近、**

**なぜ他の三つのエレメントが肉体のなかに存在するのかについて見てきました。**

**実際、肉体は完全に土に関係しており、**

**言い換えれば、完全に原因・結果の法則と関係しています。**

**そして完全にルシファーの監督下にあります。**

しかし、つながっていると言う時、直接にではありませんが、私たちがサミュエルと呼んだルシファーの創造物を通じてつながっています。

さて肉体はサイコノエティカル体とどのようにしてつながっているのでしょうか？前に説明したように、それは水のエレメントによってつながっています。実際、それは活性化され、この場合、肉体としてではなく他の二つの体によって使われる体として、水によってその現れとつながるために。そのようにして肉体は思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーとつながっています。しかしそれはまた素質的可能性のサイクルの結果です。言い換えれば、他の二つの体と肉体との結びつきは神の黙想の結果なのです。

さて、現在のパーソナリティーは行動・思考の仕方以外の何ものでもない、と言うその理由は、それが適切な順序だからです。思考・行動の仕方ではなく、行動・思考の仕方です。前に述べたように、現れは水のエレメントを通じて肉体とつながっていますが、水のエレメントはサイキカル体の主なエレメントです。そうではないでしょうか？

**ですから、サイキカル体からのものは何であれ肉体に影響を与えます。**

**なぜなら直接につながっているからです。**

**そして三つの体はサイキカル体に属するセンターに根付いています。**

**そのセンターとはハートのセンターです。**

**しかし、現在のパーソナリティーが無知に取り込まれている間は、**

**現在のパーソナリティーの水は静寂ではありません。**

**そのセンターにはたくさんの嵐があります。**

**そしてそれらの嵐の結果として、多くの影響があり、**

**肉体にまでその影響が及んでいます。**

**ですから現在のパーソナリティーがやるべき努力とは**

**このエレメントの嵐を静めることです。**

初め、現在のパーソナリティーは欲望的想念のエレメンタルを創造します。

そうとは知らずにいわゆるたくさんの敵を創造しています。なぜなら、創造したものは何であれ再び戻ってくるからです。真剣な真理の探究者はそのなかに否定性を含まない想念・思考を表現するようにすべきです。確かに最初は現在のパーソナリティーが想念的欲望のエレメンタルを創造し、現わすのは不可能でしょう。**しかし、少なくともそれらの欲望的想念がその中に多くの否定性を含まないようにすべきです。なぜなら、それらの否定性は再び戻ってきて、現在のパーソナリティーの成長を妨げるような影響をもたらすからです。**

さて、水のエレメントに戻りましょう。それは現在のパーソナリティーが試み、ワークすべき最初のエレメントです。それは現在のパーソナリティーの現れのために、徐々により意識的に五つの超感覚を使う方向へと現在のパーソナリティーを導くエレメントです。このエレメントはガブリエルの監督下にあり、以前述べたようにガブリエルは四面ピラミッドにおいて働いています。四面ピラミッドの一つのサイドはガブリエルの監督下にあり、このサイドは主のアベニュー（＊大通り）に向かうドアーを開きます。主のアベニューに入り、様々な意識レベルを現わすためには、私たちはこのドアーを通過しなければなりません。

キリスト教において人が水のなかで洗礼を受けるのは偶然だと思っていますか？それについて考えてみてください、今は私はその答えを言いません。この地球である場所について話すとき、例えばある山についてその山の高さについて話すとき、海のレベルから、つまり海抜に基づいて話しますね。それは偶然でしょうか？なぜ水のエレメントと関係させるのでしょうか？そのような問いがあります。

このエレメントをマスターするためのエクササイズを提供しましたが、それは簡単ではありません。私たちは少なくともそのエレメントから影響を受けるためにそのエクササイズをする必要があります。そのエレメントは現在のパーソナリティーを静寂の海とつなげます。**水のエレメントは現在のパーソナリティーに静寂をもたらします。**

今は現在のパーソナリティー内におけるこのエレメントについては述べません。

**というのも現在のパーソナリティー内におけるこのエレメントは嵐のように波立っているからです。**

**私たちはこのエレメントの海と同じ静寂になるように、それを静める必要がります。なぜならこのエレメントの海は静寂のステートにあるからです。**

ですから、将来私たちはもっとエクササイズを提供していきます。それらのエクササイズのために時間を費やす必要があります。なぜなら、水のエレメントに集中するだけでなく、四つのエレメント全てに集中していくからです。そしてまた、それらの各エレメントがいかにして他の三つの質によって活性化されるのかにも特に注意を向けていきます。あなた方は気づいていないかもしれませんが、これまでに勿論ある程度までですが、いくつかのエクササイズのなかでは三つの高次のエレメントを使用してきたのです。

エクササイズ：SPA/32M.NO.1

静かに座り、心を騒がせているもの全てを解き放ちます…真っ白な自分自身を視覚化し、自分の境界を感じます…また真っ白な五芒星のなかで自分が守られているのを見ます…今あなたは鏡の前に座っています…あなたはまっすぐに鏡を見ていますが、そこに何が見えるでしょうか？

鏡のなかにはあなたの肉体の姿が見えます…あなたとのつながりは何ですか？…目の前にあるそのイメージとあなたはどのようにつながっているのでしょうか？…関係しているのでしょうか？なぜそのイメージがあるのでしょうか？

誰もが「私の肉体から」と言うでしょう、実際、その原因とあなたとの関係は何でしょうか？言い換えれば、肉体とあなたとのつながりは何でしょうか？

私は実際に、自分の目の前のそのイメージを生み出している肉体のなかにいるのでしょうか？問いです。私とは何でしょうか？もし私が目を閉じ、目の前にあるイメージを見ないなら、自分自分をより少なく感じるのでしょうか？

私はそれについて考える必要があります…私は自分の肉体との関係を見いだす必要があります。

さて、あなたは今別の場所に立っています、もはや鏡は前にありません、あなたの前には別の光景があります…とても美しい湖があなたの前にあります…あなたはその湖の水のすぐそばに立っています…目の前にあるその湖の水のすぐそばに立っています…その大きさには注意を払わないでください、それは全く問題ではありません…重要なのはその水がどれだけ静かであるかです…水は非常に静かで、水晶のように澄んでいます…それは余りにも静かなので、それを鏡と比べることもできるほどですが、しかしそれは鏡ではありません…その水のなかにあなたの姿をみることはできません…何も映っておらず…何のイメージもありません…その湖の水は水晶のようにピュアーで澄んでいるので、中がきれいに見えます…水のなかの小さなものまではっきりと見えます…さて、もしあなたがそれらの水の静寂をあなた自身の内側の静寂と比べると、それはまるで比較になりません…なぜなら、あなた自身の中には実際何の静寂もないからです…あなた自身のなかのそのエレメントが湖の水のエレメントの静けさによって影響を受けるように願います…湖の水から静寂の輝きが来るのが見えます…それは輝き、光です…それを感じます…今それがあなたを包んでいます…その輝きに包まれたことによって、あなたは重力の影響を失い、今あなたは浮いています、あなたはその輝きのなかで地面から離れた空中に浮いています、それを感じて下さい…静寂に包まれているのを感じます…アガピに包まれているのを感じます…それを感じます…あなたは今湖の水の上に浮いています…包まれている感じをもっと感じたいと思います、そして今あなたは水のエレメントのなかに入ろうとしています…このエレメントの最も低いバイブレーションにも包まれているのを感じます…あなたは水のエレメントに入ります…太陽神経叢まで、次に胸まで、次に肩までそれに包まれているのを感じ、今や完全にそのエレメントに包まれています…何も恐れはありません…自由に呼吸もできます、何も問題はありません…そのエレメントに包まれたことによってあなたの嵐が静まるようにと願います…あなたのサイキカル体の嵐が静まります。

ガブリエルに感謝を捧げます…主の愛、主のアガピ、主の祝福があなたと共に、あなたの愛する人々、そして世界全体と共にあります。

私たちは主、絶対、主の聖性によって抱かれています。

EREVNA SPA/32/KE7/M